

多文化関係学会 2025年度 第1回理事会  
議事要旨

日時：2025年5月25日（日）15時30分～16時30分  
場所：オンライン開催

出席：石井英里子，石黒武人，奥西有理，笠原正秀，久保田真弓，河野康成，坂井二郎，  
猿橋順子，渋谷百代，當銘美奈，水松巳奈，奴久妻，矢元貴美，横溝環  
欠席（委任状）：中野祥子，叶尤奇

議事に先立ち，笠原会長より挨拶があった。

1. 報告事項

(1) 事務局報告

5月25日現在の会員数：244名（正会員198，学生41，シニア5）  
ただし，2024年度の年会費納入者は，156名（正会員132，学生22，シニア2）  
となっている。3年間会費未納者については，除籍対象者として整理し，今後対  
応する。

(2) 各委員会からの報告及び2025年度活動報告について

1) 財務委員会

2024年度決算書の監査が終了し，2025年度予算案を作成した。

2) 地区研究会委員会

北海道・東北：7月26日に「札幌圏のイスラーム：誰もがつながりあう  
共生の街づくりとムスリム」をテーマとして研究会を開催する。（於藤女  
子大学）

関東：8-9月頃に研究会開催を予定している。

関西・中部：今後，研究会の計画を立てる。

中国・四国：11月頃に研究会（オンライン）開催を予定している。

3) 学会誌編集委員会

第22巻への投稿を5月10日に締め切り，8件（原著論文）の投稿があっ  
た。17日に編集委員会を開催し，査読手続きに入った。また，委員会内で  
学会誌オンライン化に向けた具体的な方法等を検討中である。

4) ニュースレター委員会

第47号を6月初旬に発行する。また2026年2月に第48号の発行を予定  
している。

5) 学術委員会

特定課題研究については前回応募がなかったため、今後の募集に向けて、募集時期やテーマ、審査の形式など制度の見直しを行う。また、リサーチワークショップについては、今年度複数回実施を目指している。

6) Web 管理・広報委員会

ML の配信や学会ウェブサイトの更新をこれまで通り行う。

7) 選挙管理委員会

今年度は理事選挙がないため、年度中に選挙のあり方についての整理・準備をしたい。

(3) 2025 年度第 24 回大会運営委員会報告

第 24 回大会は、東京未来大学に於いて 10 月 4 日に開催する。テーマを「ポストヒューマン時代の多文化関係：『分断』『多様性』『社会的包摂』を問い直す」とし、基調講演、シンポジウム（日本コミュニケーション学会との共催）、名刺交換会やポストカンファレンス（新大久保フィールドワーク）も予定している。申し込み案内メールを会員 ML で近日配信することになっている。

(4) その他

- ・インターブックスに依頼した学会誌バックナンバーの在庫については、4 月に廃棄処分を済ませた。また同社から過去の学会誌 PDF ファイル一式および J-Stage へのアクセス ID とパスワードなどの情報についても引継ぎが行われた。
- ・旧会員サイトのサーバーの解約について、業者への連絡を行う。

2. 審議事項

(1) 2025 年度予算（2024 年度決算含む）について（資料 1, 2）（財務委員長）

監査を受けた 2024 年度決算書（資料 1）が提示された。その際、新たな会員システムの運用により、過年度の年会費納入があり収入が予算を上回ったこと、他方、支出については予算内に収まったこと、が説明された。審議の結果、提案通り臨時総会に提案することが承認された。

続いて 2025 年度予算案について、資料 2 に基づいて提案された。会費未納会員の除籍などが一定数見込まれる頃から会費収入については控えめに計上していること、また学会誌のオンライン化に伴い関連する支出に変動が見込まれるが現時点では明確な金額が提示できないために前年度と同規模の金額を計上していることの説明があった。審議の結果、上記事情より後日修正がある可能性を踏まえた上で承認された。

## (2)学会誌のオンライン化（資料3）

既に理事会で承認された学会誌のオンライン化（資料3）について、臨時総会に提案することの確認がされ、審議の結果、承認された。

その際、オンライン化とともに

- ・ J-stage でオープンアクセス化が望ましい
- ・ CiNii へのリンクも検討したい
- ・（紙の学会誌が手元に届かなくなるという意味での）会員メリットへの影響について検討し、必要に応じて今後理事会に諮りたい

等が編集委員会内で現在議論されていること、また DOI 取得や ISBN 取得などの手続きについて今後進めていくことが報告された。オンライン化の具体的な方針などについては今後も適宜理事会に諮り進めていくことが確認された。

## (3)石井賞評価基準について

継続審議事項ではあるが、学術委員会案がまだ提案には至らないため、審議を延期することになった。

## (4) 会則改定について（資料4）

理事の任期途中の任命・交代に関連する会則の変更について、資料4に基づき提案されたが、継続審議となった。

以上

\*第2回理事会

2025年7月または8月開催予定（後日調整）